

**関門トンネルの技術や歴史などを紹介する
「案内板」を門司駅に設置します！**

山陽本線門司・下関間の関門海峡の海底をくぐって九州と本州を結ぶ関門トンネルは、昨年、開業77周年を迎えました。これを記念し、また、関門トンネルの建設や保守、運転業務に携わられた先人の功績を称えるため、トンネルの構造や技術、歴史、トンネルを通過していた懐かしの列車等を紹介する「案内板」を門司駅5・6番のりばに設置します。

関門トンネルは、1942（昭和17）年11月15日に下り線が開業し、昨年で開業から77年の喜寿を迎え、現在も、九州と本州を結ぶ大動脈として機能しています。開業当時は、世界でも殆ど例を見ない海底トンネルの嚆矢として建設され、「世紀の偉業」と称えられました。しかし、この関門トンネルに関して、お客さまが詳細を知ることができる掲示物は存在せず、今回設置するものが初めてのものとなります。

皆様も関門トンネルの歴史やトンネルを建設し支えてきた先人の功績をご覧ください、今後とも関門トンネルをご愛顧賜りますようお願いいたします。

○公開時間 2020年3月27日（金） 14：00～
※78年前のこの日、関門トンネル下り線が貫通（トンネルの本坑が繋がった）しました。
門司駅の営業時間中（4：30～最終列車）にご覧頂けます。

○設置場所 門司駅5・6番のりば（下関側）
※ホームへの入場の際し、入場券をお買い求め下さい。
※門司駅で有効な乗車券・定期券、入場券をお持ちの方はご自由にご覧頂けます。

【案内板イメージ】 ※高さ2m×幅1.7m

○5番のりば側

関門トンネル下り線海底中央部付近の写真



○6番のりば側

関門トンネルの構造や技術、歴史、関門トンネルを通過していた懐かしの列車等について紹介

